

# 平成26年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 90	説明資料	P. 67	款 項 目 事業 細事	02 01 07 03 02	総務費 総務管理費 企画費 国際交流推進事業 多文化共生推進プラン策定事業	部・局 課 計画項目 基本方針	03 01 V ⑤	企画総務部 企画政策課 パートナーシップ都市 国際交流と地域間交流の推進
-------------	-------	------	-------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--------------------	---

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他			
「多文化共生推進プラン」策定事業	919					919	1,172	
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳							
本市における多文化共生のまちづくりを実現するため、施策を推進する指針となる「京丹後市多文化共生推進プラン」を策定した。 (計画期間：平成27年度～平成29年度)								
○策定委員会開催 委員：20人 委員会開催：4回	60千円							
○市民アンケート調査 対象者数：外国人市民249人、日本人市民3,200人	379千円							
○「多文化共生推進プラン」冊子作成 平成27年3月発行 A4フルカラー 68ページ(300冊)	300千円							
○講演会開催 2回開催(H26.5.19、H27.1.30)	100千円							
○翻訳経費 日本語→英語、中国語、タガログ語	48千円							
○その他事務経費	32千円							
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>	事業期間 総事業費 国庫支出金 府支出金 市債 その他 一般財源							
	H26 ~ H26	919					919	
<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>								
	年度策定					期		
	年度策定					間		
<b>【市民参加の有無】</b>								
有 市民アンケート調査の実施、関係団体等で構成する多文化共生推進プラン策定委員会の開催、さらにパブリックコメントの実施など、市民の意見を基に策定。								
<b>【今後の事業の方向性】</b>								
同プランに基づき、関係機関や関係団体等と連携し取り組みを進める。また、プランの進捗管理のための外部組織として「多文化共生推進協議会(仮称)」を平成28年度に設置する予定。							参 考	
							H24決算	0
							H25決算	0
							H27予算	0
<b>【事業費内訳】</b>								
		合 計		919				
節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額			
08	報償費	163						
09	費用弁償	45						
	普通旅費	10						
11	消耗品費	22						
	印刷製本費	319						
12	通信運搬費	360						

本市では約500人(H26.12現在)の外国人が、国籍や言語、文化や習慣など様々な背景をもって生活している。外国人を含むすべての市民が住みやすいまちづくりの実現に向け、市民アンケート調査や講演会を実施するとともに、「多文化共生推進プラン策定委員会」及び「庁内検討委員会」を開催(各4回)し、「京丹後市多文化共生推進プラン」を取りまとめた。  
 <プランの概要>  
 「国籍、民族、文化などのちがいを認め合い、ともに豊かに暮らせるまちへ」を基本理念として、4つの基本目標のもと12の基本方針と23の施策を掲げ、関係団体、地域、行政、事業者等と連携し、多文化共生の取り組みを推進。

平成26年度

一般会計

決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 94	説明資料	P. 72
-------------	-------	------	-------

款	02	総務費	部・局	05	市民部
項	01	総務管理費	課	03	市民協働課
目	07	企画費	計画項目	V	パートナーシップ都市
事業	15	地域活動応援事業	基本方針	①	地域コミュニティの強化
細事	01	コミュニティ支援事業			

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他			
コミュニティビジネス応援事業	8,058				5,000	3,058	11,329	
<b>【項目の決算概要】</b>		特 定 財 源 の 内 訳						
<b>【コミュニティビジネス応援補助金】</b> 7,635千円		繰入金;ふるさと応援基金繰入金		5,000				
○京丹後市シルバー人材センター(1,274千円) 空き店舗を活用し、軽食喫茶店「和い輪いがや我家」の開業事業								
○ハーブとスローフードのまちづくり(995千円) 空き家などを活用し、ハーブ体験セミナーやハーブの加工販売事業								
○食と健康(621千円) 出荷不合格農産物を、食品として加工し商品開発、販売事業								
○宇川ふるさとづくり協議会(620千円) 旧下宇川保育所を利用し、地元食材を活用した商品開発事業								
○栃谷地縁グループ(961千円) 空き店舗を活用し、地元の農産物の販売事業								
○五十河コミュニティショップ歌仙(1,164千円) 未利用施設「歌仙」を利用し、地元食材を活用した再開業事業								
○月亭リノベーションプロジェクト(2,000千円) 元旅館であった空施設をシェアオフィスとして活用した地域活性化事業								
<b>【その他経費】</b> 423千円								
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>								
<p>価値観の多様化、少子高齢化の進行等の社会情勢の変化に伴い増大する様々な地域課題に対して、市民が主体となってそれらを解決してコミュニティビジネスの創出及びその事業活動を応援するための基本的事項を定めた、「京丹後コミュニティビジネス応援条例」を平成26年4月から施行し、併せて、この条例に基づきコミュニティビジネスの創出や育成に係る応援制度を創設した。</p> <p>地域の活力向上や課題解決などの取り組みに対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。</p>								
<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>								
年度策定						期 間		
年度策定						期 間		
<b>【市民参加の有無】</b>								
無								
<b>【今後の事業の方向性】</b>								
団体等が取り組んだ事例発表、また団体等の意見交換の場を開催し、情報共有を行い更なる事業発展を図る。						参 考	H24決算	0
							H25決算	0
							H27予算	10,597
<b>【事業費内訳】</b>		合 計		8,058				
節コード	細 節 等 名 称		金 額	節コード	細 節 等 名 称		金 額	
11	印刷製本費		278					
13	アドバイザー-派遣業務委託料		145					
19	コミュニティ支援補助金		7,635					

# 平成26年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 96	説明資料	P. 74	款 項 目 事業 細事	02 01 07 19 01	総務費 総務管理費 企画費 松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト 松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト	部・局 課 計画項目 基本方針	03 01 IV ⑤	企画総務部 企画政策課 生涯学習都市 歴史文化遺産の保全と活用
-------------	-------	------	-------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	---------------------	--

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額	
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他			
松本重太郎100年記念・総合調査プロジェクト（繰越）	1,500					1,500	1,500	
<b>【項目の決算概要】</b>  松本重太郎翁没後100年を迎え、100年記念プロジェクトとして、京丹後市出身の偉人である松本重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究するため、大阪大学（宮本又郎 名誉教授）に業務を委託した。  ○松本重太郎調査研究業務委託料 1,500千円  『松本重太郎の功績および哲学調査報告書』（97ページ） 1.松本重太郎の略歴 2.松本重太郎の企業者活動 3.松本重太郎の蹉跎 4.松本重太郎の思想と人となり 5.松本重太郎の趣味と家族・交遊関係 6.松本重太郎の功績と遺したもの 7.資料リスト	特 定 財 源 の 内 訳							
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
	H25 ~ H26	1,515					1,515	
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b>							
	25年度策定	京丹後市新経済戦略					期 間	H25~
	年度策定						期 間	
	<b>【市民参加の有無】</b>							
	無							
	<b>【今後の事業の方向性】</b>							
	重太郎翁の偉大な功績や精神を顕彰し後世に継承していくとともに、市外企業との接点を持つことによる市内産業の活性化や、京丹後市の知名度向上・イメージアップによる観光誘客の促進につなげていくため、「松本重太郎ビジネス大賞（仮称）」の創設を検討していく。						参 考 者	H24決算 0 H25決算 15 H27予算 0
<b>【事業費内訳】 合 計 1,500</b>								
節 目	細 節 等 名 称		金 額	節 目	細 節 等 名 称		金 額	
13	調査研究業務委託料		1,500					

**【事業実施の経緯及び成果】**

京丹後型「新グリーン経済」の構築に向けて、「商工業総合振興条例」の制定や「新経済戦略」の策定を行い、市内企業の経営安定・成長発展への支援、企業立地の推進など、商工業の総合的な振興を図ってきた。

このような中で、本市（丹後町間人）出身の偉人で明治期の関西経済発展の立役者である重太郎翁の功績や起業精神などを調査・研究することにより、地域の宝として共有していくこととした。

当該調査・研究結果を活用して、毎日放送で「関西偉人伝説～新しいニッポンをつくった謎の男～」と題したテレビ放映を実施するとともに、北近畿と関西経済の新たな可能性を探る取り組みとして「関西経済交流シンポジウム」を開催し、重太郎翁の素晴らしさ・功績を発信するとともに、京丹後市の魅力発信や商工業の連携・ネットワーク形成につなげた。

平成26年度

一般 会 計

決算 特徴的事業 調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 96	説明資料	P. 74	款	02	総務費	部・局	03	企画総務部
				項	01	総務管理費	課	01	企画政策課
				目	07	企画費	計画項目	Ⅶ	計画推進のために
				事業 細事	20 01	地域活性化モデル推進事業 地域活性化モデル推進事業	基本方針	①	効率的な行財政運営の推進

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
地域活性化モデル推進事業	1,825		500			1,325	1,850

**【項目の決算概要】**

平成26年5月に選定された「地域活性化モデル事業」及び国の第1号認定を受けた「地域再生計画」の推進を図るため、調査研究を実施した。

○新シルク産業創造事業 400千円  
無菌・周年養蚕の実施に向けた試験養蚕、高機能性シルクの研究開発を行う拠点施設として、旧溝谷小学校を「(仮称)新シルク研究開発・利用促進施設」として整備するための、実施設計業務発注に向けた施設改修基本構想を作成した。

○新公共交通体系構築事業 1,080千円  
平成26年5月に北近畿タンゴ鉄道(株)に代わる新たな鉄道最適運行事業者として決定したWILLER ALLIANCE(株)に対し、新運行後の鉄道の2次交通の利便向上策として、EV車両(電気自動車)を活用した公共交通のあり方等について、調査研究を委託した。

○国等との協議のための旅費、有料道路使用料 345千円

特 定 財 源 の 内 訳						
府補	未来づくり交付金		500			
事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
H26 ~	2,432		500			1,932

**【京丹后市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ**

H26 年度策定	地域再生計画	期 間	H26年度~H31年度
年度策定			

**【市民参加の有無】**

有 地域活性化モデル事業は、総合計画・基本計画及び総合戦略の一つとしても位置付けており、その策定過程において審議会等で市民意見を聴取。

**【今後の事業の方向性】**

地域再生計画を推進するため、地域再生戦略交付金などを活用しつつ、着実な事業実施を進めていく。

参 考	H24決算	0
	H25決算	0
	H27予算	607

**【事業実施の経緯及び成果】**

平成26年5月に開催された国の「第3回地域活性化の推進に関する関係閣僚会合」において、本市の提案した『グリーン・ウェルネス新公共交通体系の構築とそれを核とした環境調和・健康未来創造スマートコミュニティの実現』が国の地域活性化モデルケースとして採択された。さらに、国において「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、予算、税制改正、規制緩和等による地域活性化の総合的な検討・対策が進められていることを踏まえ、モデルケース提案事業の具体化・事業推進に向け、調査研究を行った。

調査研究を進めるなかで、平成27年1月には、モデルケースの具体的計画として策定した「地域再生計画」が地方創生に関連した国の第1号認定を受け、地域再生戦略交付金の交付決定も受けながら、計画の具体化を図ることができた。

**【事業費内訳】** 合 計 1,825

節	ト	細 節 等 名 称	金 額	節	ト	細 節 等 名 称	金 額
09		普通旅費	313				
13		網関連産業・大学等集積促進施設整備構想策定委託料	400				
		新公共交通体系構築・ICT活用まちづくり調査研究委託料	1,080				
14		有料道路通行料	32				

# 平成26年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 102	説明資料	P. 82	款	02	総務費	部・局	05	市民部
				項	01	総務管理費	課	03	市民協働課
				目	10	地域振興費	計画項目	V	パートナーシップ都市
				事業	02	地域にぎわい活性化事業	基本方針	①	地域コミュニティの強化
				細事	06	地域にぎわい創出事業			

項 目 名 称		決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額		
			国庫支出金	府支出金	市 債	その他				
地域にぎわい創り推進員の増員配置		22,198			5,000	6,000	11,198	22,383		
【項目の決算概要】		特 定 財 源 の 内 訳								
町	取組（地域特性・特徴を活かした地域活性化の取組）	繰入金：地域振興基金繰入金		6,000						
峰山町	小西川河川整備（関連イベントの実施）、月の輪田の振興（二箇地区）、域学連携（峰山南地区）	市債：過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）		5,000						
大宮町	域学連携（五十河地域）、里の人づくり事業支援（大宮南、三重森本）、大宮生き活きフェスタ事業支援	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
網野町	域学連携（網野、浅茂川、下岡、小浜、北大路、水之江地区）、三津小学校跡地利用に関する地元支援、京都村づくり事業支援（掛津区）、海の京都（夕日ヶ浦海の京都推進会議）	H26～	22,198			5,000	6,000	11,198		
丹後町	碓高原祭り実行委員会事務支援、立岩周辺清掃活動事務局支援、米軍TPY-2レーダー配備計画関係（宇川地域の振興策の策定）、海の京都（観光協会丹後町支部）	【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ								
弥栄町	域学連携（野間地域）、協働のまちづくり補助金事務支援、宝くじ事業の申請等事務補助、花いっぱい運動（府道丹後弥栄道周辺）	年度策定						期 間		
久美浜町	域学連携（久美浜町全域）、都市農村共生・対流総合対策事業の支援、久美浜まるごとプロデュース事業事務局協力、地区活性化協議会事務員指導（8協議会）、海の京都（久美浜湾周辺地域）	年度策定								
【事業実施の経緯及び成果】		【市民参加の有無】		【今後の事業の方向性】						
<p>平成22年度の「京丹後市まちづくり委員会」答申に基づき、平成23年6月から、市民と行政の架け橋として「地域サポーター」制度を開始。配置希望があった大宮町域と久美浜町域に設置し、小規模集落の連合化や地域活性化協議会に係る取組を進めた。</p> <p>平成24年7月、設置目的や職務内容を明確にするとともに、「地域にぎわい創り推進員」と改称して、設置規則を制定。公募・面接により9月から全6市民局に1人ずつ設置。平成26年6月から2人ずつに増員し、12人体制とし、コミュニティビジネスの応援、域学連携事業の支援を職務に追加した。</p>		有		地域の特性や特色を活かしながら、市民と協働して自治活動などの活性化に向けて、各種事業支援を行った。						
		【事業費内訳】		合 計		22,198				
		節ト	細 節 等 名 称	金 額	節ト	細 節 等 名 称	金 額	参 考		
		04	社会保険料	2,722	12	推進員募集広告料	70	H24決算	6,152	
04	雇用保険料	287				H25決算	8,838			
05	公務災害補償費	16				H27予算	28,348			
07	地域にぎわい創り推進員賃金	19,001								
09	普通旅費	7								
09	特別旅費	65								
11	消耗品費	30								

平成26年度

一 般 会 計

決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 192	説明資料	P. 180	款	04	衛生費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	保健衛生費	課	04	環境バイオマス推進課
				目	07	環境衛生費	計画項目	Ⅱ	環境循環都市
				事業	13	資源循環推進事業	基本方針	④	循環型社会の構築
				細事	01	資源循環推進事業			

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額	
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他			
生ごみゼロエミッションの推進	6,178				3,500	2,678	6,219	
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳							
<p>生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会で定めた「平成30年度に市内全域の家庭系生ごみの全量資源化」という目標に向け、PRビデオ作成や説明会開催など普及啓発を推進した。 バケツ方式から袋方式へ回収方式を変更したことに伴い、効率的な処理体制を整備するため破袋分別機の改造移設を行った。</p> <p>○生ごみ資源化事業 2,282 千円                      ・液肥タンク設置費用等 1,264 千円                      ・液肥運搬手数料 12 千円                      ・委託料（PRビデオ作成、生ごみ処理） 1,006 千円                      ○破袋分別機の導入 3,896 千円                      ・破袋分別機購入費 1,620 千円                      ・破袋分別機改造移設費 2,276 千円</p>	繰入金：地域の元気づくり基金繰入金		3,500					
	事業期間		総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
	H26 ~ H30							0
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>							
	H26 年度策定		第2期京丹後市一般廃棄物処理基本計画				期 間	H27年度～H36年度
H21 年度策定		京丹後市環境基本計画				期 間	H21年度～H30年度	
<b>【市民参加の有無】</b>								
無								
<b>【今後の事業の方向性】</b>								
目標達成に向け、普及啓発を継続しながら段階的に分別世帯数を増加させていく。また併せて、受け入れ施設の整備など具体的な体制整備を整えていく。							参 考	
							H24決算	1,913
							H25決算	527
							H27予算	6,466
<b>【事業費内訳】</b> 合 計 6,178								
節ト	細 節 等 名 称		金 額	節ト	細 節 等 名 称		金 額	
11	消耗品費		1,264					
12	液肥運搬手数料		12					
13	PRビデオ作成委託料		177					
13	一般廃棄物処理委託料		829					
15	破袋分別機移設改修工事費		2,276					
18	破袋分別機購入費		1,620					
<b>【生ごみ資源化の目標設定】</b>								
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
1,000世帯	5,000世帯	10,000世帯	全世帯					

# 平成26年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 194	説明資料	P. 181	款 項 目 事業 細事	04 01 07 14 04	衛生費 保健衛生費 環境衛生費 再生可能エネルギー推進事業 利活用推進プラットフォーム事業	部・局 課 計画項目 基本方針	08 04 Ⅱ ②	農林水産環境部 環境バイオマス推進課 環境循環都市 新しいエネルギーの導入と活用
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--------------------	---

項目名称	決算額	特定財源内訳				一般財源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市債	その他			
再生可能エネルギー等導入促進支援補助金	2,002				2,002	0	2,002	
<b>【項目の決算概要】</b>	特定財源の内訳							
【公募期間】 1次 H26.4.1 - H26.7.15 2次 H26.7.16 - H26.9.30 3次 H26.10.1 - H27.1.30	繰入金	市民太陽光発電事業特別会計繰入金		2,002				
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
【対象者】 市内に居住、本社又は生産等の拠点を有し、又は有する 予定の電力受給契約を結ぶ個人（個人事業主を含む）、法 人、又は自治会等で、補助システムを自ら使用する方	H26 ~ H27	5,002				5,002	0	
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>							
【対象設備】 太陽光発電システム 20,000円/kW 太陽熱利用システム 50,000円/定額 木質燃料利用システム 50,000円/定額 導入促進支援奨励金 2,000円/kW 等	年度策定						期	
	年度策定						間	
【決算】 交付件数：25件 交付額：2,002千円	<b>【市民参加の有無】</b>							
	無							
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b> 平成24年度に策定した市再生可能エネルギー導入促進基本方針に基づき、地域が自主的かつ主体的に取り組むことのできる再生可能エネルギー事業を推進し、温室効果ガスの排出抑制に貢献することはもとより、自然エネルギーと社会・産業基盤の好循環を形成し安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、補助金を交付した。 この補助金は、市民太陽光発電事業特別会計の収益の一部を一般会計に繰入れ、本事業に充当して実施した。  ・太陽光発電システム（住宅用） 18件 82.95kW ・木質燃料利用システム（木質ストーブ） 5件 5台 ・導入促進支援奨励金（産業用太陽光発電） 2件 59.5kW	<b>【今後の事業の方向性】</b>							
	再生可能エネルギーの地域全面展開のため、平成27年度も継続して実施する。					参 考	H24決算	0
							H25決算	0
					H27予算		3,000	
<b>【事業費内訳】</b> 合計 2,002								
節	コード	細 節 等 名 称	金 額	節	コード	細 節 等 名 称	金 額	
	19	再生可能エネルギー導入促進支援補助金	2,002					

平成26年度

一 般 会 計

決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 194	説明資料	P. 182	款 項 目 事業 細事	04 01 07 17 01	衛生費 保健衛生費 環境衛生費 地域バイオマス活用推進事業 地域バイオマス活用推進事業	部・局 課 計画項目 基本方針	08 04 Ⅱ ④	農林水産環境部 環境バイオマス推進課 環境循環都市 循環型社会の構築
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--------------------	---

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他		
地域バイオマス資源の活用推進	98					98	142
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳						
下水汚泥等の資源化の方法や中間処理の形態について検討し認識を深めるため、先進地視察を実施したほか、バイオマス活用アドバイザーの派遣を受けた。							
○バイオマス活用アドバイザー派遣 37 千円 ・H26.5.29 (庁内会議：1人×1日)							
○下水汚泥等資源化先進地視察 10 千円 ・H26.8.19 (香川県さぬき市：関係課6人)							
○その他職員旅費 61 千円							
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
	～						0
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b>						
	H26 年度策定	第2期京丹後市一般廃棄物処理基本計画				期 間	H27年度～H36年度
	年度策定						
	<b>【市民参加の有無】</b>						
	無						
	<b>【今後の事業の方向性】</b>						
	下水汚泥等の最終的な資源化方法を決定し、民間事業者と連携しながら具体的な事業化へ向けて取組みを推進していく。						参 考
						H24決算	0
						H25決算	0
						H27予算	2,447
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>	下水汚泥、浄化槽汚泥、し尿汚泥は現在市内から年間約2,500 t 発生し、竹野川衛生センターで焼却処理をしている。この下水汚泥等の資源化を進めるため、先進地視察の実施などにより、セメント原燃料化、堆肥化など資源としての活用方法について検討を行い、第1段階として発酵乾燥化の方向を定めることができた。 また、家庭生ごみや下水汚泥等の資源化等、今後のバイオマスの取組みに関する指針となるバイオマス産業都市構想の原案づくりに並行して着手することができた。						
	<b>【事業費内訳】 合 計 98</b>						
節コード	細 節 等 名 称		金 額	節コード	細 節 等 名 称		金 額
08	バイオマス活用アドバイザー謝金		4				
09	費用弁償		33				
09	普通旅費		61				



# 平成26年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 194	説明資料	P. 182	款	04	衛生費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	保健衛生費	課	04	環境バイオマス推進課
				目	07	環境衛生費	計画項目	Ⅱ	環境循環都市
				事業 細事	17 01	地域バイオマス利活用推進事業 地域バイオマス利活用推進事業	基本方針	④	循環型社会の構築

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額			
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他					
バイオマス産業都市構想策定経費	133					133	154			
<b>【項目の決算概要】</b>  バイオマスタウンを更に発展させ、木質、食品廃棄物、下水汚泥、家畜排せつ物などの地域バイオマスを活用した産業化に重点をおいた構想である「バイオマス産業都市構想」策定に向け、構想図の作成や有識者協議を実施した。  ○バイオマス産業都市構想図作成 38 千円 ○職員出張旅費（有識者協議、セミナー等） 76 千円 ○使用料（有料道路、駐車場） 19 千円	特 定 財 源 の 内 訳									
	事業期間									
	総事業費		国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源			
	H26 ~ H27	275					275			
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>									
	年度策定						期			
	年度策定						間			
	<b>【市民参加の有無】</b>									
	無									
	<b>【今後の事業の方向性】</b>									
H27年度の「バイオマス産業都市構想」認定募集が開始されたときに応募できるよう、本市「バイオマス産業都市構想」策定を進めていく。						参 考	H24決算 0 H25決算 0 H27予算 142			
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>  「バイオマス産業都市構想」は、環境循環都市を実現するための本市の事業化推進の方向を方向を定めるとともに、国の認定を受けると、関係7府省から構想実現に向けての施策の活用、各種補助制度など支援が受けられるため、地域バイオマス利活用事業推進のための施設整備など将来の事業化に向け、「構想」策定を進めている。 有識者協議やセミナー参加、構想図作成により、H27年度の公募申請に向けての原案作成を進めることができた。	<b>【事業費内訳】 合 計 133</b>									
	節-J-D	細 節 等 名 称			金 額	節-J-D	細 節 等 名 称			金 額
	09	普通旅費			76					
	12	デザイン作成手数料			38					
	14	有料道路通行料			17					
	14	駐車場使用料			2					

# 平成26年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 246	説明資料	P. 233	款	06 農林水産業費	部・局	08 農林水産環境部	項	02 林業費	課	02 農林整備課	目	02 森林整備費	計画項目	I 交流経済都市	事業	03 森林整備事業	基本方針	② 農林業の振興	細事	05 木質バイオマス利用促進事業
<b>項 目 名 称</b>				<b>決 算 額</b>		<b>特 定 財 源 内 訳</b>				<b>一般財源</b>	<b>(参考) 最終予算額</b>										
木質バイオマス利用促進事業（繰越）				58,534		国庫支出金		府支出金		市 債		その他		21,950		58,583					
						36,584															
<b>【項目の決算概要】</b> 森林の公益的機能の維持や地域資源を活用した持続可能な循環型社会の構築を目的に森林整備を進めるため、これまで放置されてきた間伐材等を原料として木質バイオマスチップを製造する施設に対して支援を行った。 ○負担金、補助金交付金 木質バイオマス利用促進事業補助金 207,564千円 （全体事業費 275,901千円） 補助金交付先 株式会社丹後グリーンバイオ 施設設置場所 京丹後市大宮町森本777番地 詳細 作業棟 1棟（380㎡） 保管庫（チップヤード） 1棟（250㎡） 保管庫（パークダストヤード） 1棟（100㎡） 木質バイオマスチップ製造設備 1式 グラッブルソー 1台他				<b>特 定 財 源 の 内 訳</b>																	
				負補交：温室効果ガス吸収源対策森林整備事業補助金： 36,584																	
				事業期間		総事業費		国庫支出金		府支出金		市 債		その他		一般財源					
				H25 ~ H26		207,564				129,709				77,855							
				<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b>																	
				H19 年度策定		京丹後市バイオマスタウン構想										期 間					
H25 年度策定		京丹後市再生エネルギー導入促進に関する基本的な方針										期 間									
				<b>【市民参加の有無】</b>																	
				無																	
				<b>【今後の事業の方向性】</b>																	
				森林の健全育成と森林整備の促進（原材料の供給）のバランスをとりながら地産地消による資源循環都市の推進を行う。																	
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>  燃料利用がされなくなった天然林や放置されていた未利用間伐材を活用し、木材の経済的価値を向上させ、森林整備の促進のために川上（生産）、川中（流通・加工）、川下（利用）の3つの整備を進める必要があり、この事業により川中である加工施設の整備を推進した。 施設の整備により、燃料や紙の原料など新たな木材利用を推進することにより、木材の付加価値化と森林整備の促進が図られ、今後も継続して森林整備につなげることが出来る。  H26年度実績 総出荷量 6,567t（内燃料用 945t）				<b>【事業費内訳】 合 計 58,534</b>																	
								節コード		細 節 等 名 称				金 額		節コード		細 節 等 名 称			
14		木質バイオマス利用促進事業補助金						58,534													

# 平成26年度 一般会計 決算 特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 260	説明資料	P. 253	款	07	商工費	部・局	09	商工観光部
				項	01	商工費	課	01	商工振興課
				目	02	商工振興費	計画項目	I	交流経済都市
				事業	10	商工業総合振興事業	基本方針	④	商工業の振興
				細事	03	経済人材ネットワーク構築・強化事業			

項目名称	決算額	特定財源内訳				一般財源	(参考) 最終予算額																																																
		国庫支出金	府支出金	市債	その他																																																		
松本重太郎翁顕彰プロジェクト「関西経済交流シンポジウム」の開催	5,870		2,800			3,070	5,933																																																
<b>【項目の決算概要】</b> ○松本重太郎翁顕彰プロジェクト・関西経済交流シンポジウム開催事業 松本重太郎翁の偉大な功績を都市部（大阪市内）で発信し、京丹後市のPR及びイメージ向上につなげるとともに、関西圏を中心とした経済人材のネットワーク構築・強化を図るため、シンポジウムを開催した。 <決算額>5,870千円 シンポジウム運営委託料（毎日新聞社との協定による市負担分）5,374千円、バス運行経費246千円、職員旅費250千円 <開催概要> 日時：平成27年1月26日（月）15時30分～19時30分 会場：ホテルグランヴィア大阪（大阪市北区梅田） 内容：基調講演（講師：大阪大学名誉教授 宮本又郎氏） トークセッション（コーディネーター：小笠原毎日新聞社編集局次長、パネリスト：宮本大阪大学名誉教授、山南海電気鉄道㈱取締役会長兼CEO、佐藤大阪商工会議所会頭、萩尾大阪国際フォーラム会長、京丹後市長） 経済交流セッション（名刺交換、京丹後の「食の魅力」発信） 松本重太郎翁特別展 参加状況：166社（うち市外126社）、320人（うち市外246人）	<b>特定財源の内訳</b> 府補 未来づくり交付金 2,800 事業期間 総事業費 国庫支出金 府支出金 市債 その他 一般財源 H26～H26 5,870 2,800 3,070																																																						
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b> 年度策定 期間 年度策定																																																						
	<b>【市民参加の有無】</b> 有 松本重太郎翁の出身地である京丹後市丹後町間人を中心に翁の顕彰活動を行っている松本重太郎100年project実行委員会のメンバーをはじめ地元関係者が参画し、翁に関する情報提供や翁にゆかりの深い関係者とのパイプ役を担った。																																																						
	<b>【今後の事業の方向性】</b> 松本重太郎翁の偉大な功績を継承するとともに、これまでの取組を一過性のものとせず、本市の経済交流や観光誘客の促進のため、松本重太郎翁に関する取組を行うこととしている。平成27年度は、次の取組を予定している。 ・松本重太郎100年プロジェクト支援事業補助金（当初予算計上） ・「松本重太郎ビジネス大賞(仮称)」の創設を検討（6月補正予算計上）																																																						
	<b>【事業費内訳】</b> 合計 5,870 <table border="1"> <thead> <tr> <th>節-ド</th> <th>細 節 等 名 称</th> <th>金 額</th> <th>節-ド</th> <th>細 節 等 名 称</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>09</td> <td>普通旅費</td> <td>124</td> <td>14</td> <td>駐車場使用料</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>燃料費</td> <td>34</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリーニング手数料</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>バス運転委託料</td> <td>33</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>シンポジウム企画運営委託料</td> <td>5,374</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>自動車借上料</td> <td>181</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>有料道路通行料</td> <td>88</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							節-ド	細 節 等 名 称	金 額	節-ド	細 節 等 名 称	金 額	09	普通旅費	124	14	駐車場使用料	31	11	燃料費	34				12	クリーニング手数料	5				13	バス運転委託料	33				13	シンポジウム企画運営委託料	5,374				14	自動車借上料	181				14	有料道路通行料	88			
	節-ド	細 節 等 名 称	金 額	節-ド	細 節 等 名 称	金 額																																																	
	09	普通旅費	124	14	駐車場使用料	31																																																	
	11	燃料費	34																																																				
	12	クリーニング手数料	5																																																				
	13	バス運転委託料	33																																																				
13	シンポジウム企画運営委託料	5,374																																																					
14	自動車借上料	181																																																					
14	有料道路通行料	88																																																					
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b> 平成27年7月に京都縦貫自動車道が全線開通し、また、平成28年度には高規格道路の大宮森本ICが開通する予定であるなど、人とモノの流れが大きく変わろうとしている中、「北近畿新時代」に向けた経済交流による商工業の振興をさらに積極的に推進する必要があった。 そのような中、京丹後市出身で「東の渋沢、西の松本」と呼ばれ、今に続くいくつもの企業を立ち上げた明治期の関西経済の立役者である松本重太郎翁の没後100年、生誕170年の節目に、翁の顕彰プロジェクトとして平成25年度から各種の取組を実施。その一環としてシンポジウムを大阪市内で開催することとなった。 今回のシンポジウムの開催により、翁の顕彰はもちろんのこと、翁ゆかりの企業をはじめ、広く近畿一円の企業関係者、行政機関、地元関係者がそれぞれの立場で交流を深め、あわせて京丹後市のPRも行うことができた。																																																							

平成26年度

一 般 会 計

決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 260	説明資料	P. 254	款 項 目 事業 細事	07 01 02 10 04	商工費 商工費 商工振興費 商工業総合振興事業 商工業振興プロモーション推進事業	部・局 課 計画項目 基本方針	09 02 I ④	商工観光部 観光振興課 交流経済都市 商工業の振興
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	--	--------------------------	--------------------	------------------------------------

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市債	その他			
商工業振興プロモーション推進事業	5,400		2,700			2,700	5,400	
<b>【項目の決算概要】</b>  京丹後市出身で明治期の関西経済の立役者である松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を顕彰するとともに、重太郎翁や本市の魅力を広く発信するため、毎日放送のテレビ番組制作に協力した。  ○松本重太郎翁テレビ番組制作協力金 5,400千円  タイトル 「関西偉人伝説 ～新しいニッポンを作った謎の男～」 放送日時 平成26年12月30日(火) 午前6時～6時50分 放送エリア 京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、三重県の一部 制作・協力 MBS毎日放送・京丹後市	特 定 財 源 の 内 訳							
	府補	未来づくり交付金		2,700				
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
	H26～H26	5,400		2,700			2,700	
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b>							
	H25 年度策定	京丹後市新経済戦略						期 H25～
	年度策定							間
	<b>【市民参加の有無】</b>							
	無							
	<b>【今後の事業の方向性】</b>							
番組制作・放映をきっかけに関西圏と本市との経済・企業交流や観光誘客の推進等につなげていく必要がある。							参 考	
							H24決算	0
							H25決算	0
							H27予算	0
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>  京丹後市出身で「東の渋沢、西の松本」と呼ばれ、今に続くいくつもの企業を立ち上げた重太郎翁の没後100年、生誕170年の絶好の機会に翁の偉業を見つめ直し、その起業哲学を広く関西、全国の企業、住民に改めて知っていただき、さらにはその気風を受け継ぐ丹後企業との連携を図るべく、一昨年度から重太郎翁の活動、功績等の調査・研究を実施してきたところである。  この調査・研究の成果も活用して、また重太郎翁とゆかりのある多くの企業と連携した顕彰活動の一環として、ゆかりのある企業の系列放送局とテレビ番組の共同制作を行い、番組放映を通じて重太郎翁や本市の魅力を広く発信することができた。	<b>【事業費内訳】</b> 合計 5,400							
	節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額		
	13	商工業振興プロモーション番組制作業務委託料	5,400					

# 平成26年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 262	説明資料	P. 258	款 項 目 事業 細事	07 01 04 02 01	商工費 商工費 観光振興費 観光宣伝事業 観光宣伝活動事業	部・局 課 計画項目 基本方針	09 02 I ⑤	商工観光部 観光振興課 交流経済都市 観光の振興
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--------------------	-----------------------------------

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額	
		国庫支出金	府支出金	市債	その他			
観光誘客イベント映像発信事業	1,944		900			1,044	1,944	
<b>【項目の決算概要】</b>  リアルタイムで双方向性をもった生放送チャンネルとしてアクセス件数の多い「ニコニコ動画」の中に京丹後市チャンネルを設定し、本市で実施される観光イベントなどの様子を生放送で動画配信し、観光の魅力発信を推進した。 平成26年度は試行期間として、7月から12月までの6か月間実施。  ○動画配信等業務委託 1,944千円 (生放送撮影・動画管理編集委託) 324千円×6か月(7月～12月)	特 定 財 源 の 内 訳							
	府補	未来づくり交付金		900				
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
	H26～H27	8,424		900			7,524	
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b> H25年度策定 第2次京丹後市観光振興計画 期間 H25年度～H29年度 年度策定							
<b>【市民参加の有無】</b> 無								
<b>【今後の事業の方向性】</b> 「ニコニコ動画」は、他府県や海外へも生放送で情報発信ができる大変有効な広告媒体であり、更なる観光客の誘致につながるものと期待できるため、年間を通じて実施していく。							参 考	H24決算 0 H25決算 0 H27予算 6,480
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>  パソコンはもちろん、スマートフォンやタブレットなどインターネット媒体を持ち歩ける時代にあって、今現在の情報を得ることが可能な環境の中、新たな情報発信の手法として生中継動画配信が誘客促進に効果がある手段として注目されている。 そのような状況を踏まえ、新たな観光情報発信ツールとして今回取り組んだ「ニコニコ動画」は、単に生放送として映像を発信するだけでなく、視聴者がコメントを投稿できるという双方向性をもったものであることから、本市における様々な観光イベントを中心に動画配信することで多くの方々へ本市の魅力や感動等の共有を広く図ることができた。  ※放送回数：29回、総アクセス数：約18万8千人	<b>【事業費内訳】</b> 合計 1,944							
	節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額		
	13	観光誘客イベント映像等発信業務委託料	1,944					

平成26年度

一 般 会 計

決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 274	説明資料	P. 271	款	07	商工費	部・局	08	農林水産環境部
				項	01	商工費	課	02	農林整備課
				目	05	観光等施設費	計画項目	I	交流経済都市
				事業 細事	03 02	観光等施設指定管理運営事業 指定管理施設大規模改修事業	基本方針	④	商工業の振興

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一 般 財 源	(参考) 最 終 予 算 額		
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他				
公共温泉施設木質ボイラー導入事業（繰越）	82,205		46,061			36,144	87,542		
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳								
<p>地域バイオマスである木質資源を燃料として利用し、資源循環及び温室効果ガスの排出抑制を図るため、公共温泉施設である浅茂川温泉に木質ボイラーを導入した。</p> <p>需用費 広報看板等 219千円</p> <p>発注支援業務委託料 2,452千円 *プロポーザル支援業務（基本的条件整理・仕様書等作成支援） プロポーザル審査支援業務（評価基準等）</p> <p>工事請負費 木質バイオマスボイラー導入工事 79,534千円 （浅茂川温泉）</p> <p>工事概要 木質ボイラー設備 建屋建築・ボイラー本体・燃料供給設備・貯湯設備・ 熱交換設備等 依存設備改修 既存ボイラー撤去・電気工事</p>	負補交：温室効果ガス吸収源対策森林整備事業補助金：46,061								
	事業期間	総事業費	国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
	H25～H26	128,003		46,061			81,942		
	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ</b>								
	H19年度策定	京丹後市バイオマスタウン構想				期			
	H25年度策定	京丹後市再生エネルギー導入促進に関する基本的な方針				間			
	<b>【市民参加の有無】</b>								
	無								
	<b>【今後の事業の方向性】</b>								
	木質バイオマスボイラーの運用実績と原材料の供給の状況等を把握し、初期投資費用の課題の検証と今後の普及に向けた支援について検討が必要である。					参 考	H24決算	0	
							H25決算	45,798	
							H27予算	0	
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>	<p>木質バイオマスチップ工場で製造された燃料を利用することにより、市内産木材の利用促進と温室効果ガスの削減を図った。</p> <p>さらに、温泉施設に木質バイオマスボイラーを導入した広報看板を設置したことにより、環境に配慮した市の取り組みや資源循環による新たな利用価値について、市内外から訪れる多くの利用者へ広くPRすることが出来た。</p>								
	<b>【事業費内訳】</b>		合 計		82,205				
節	ノ	ド	細 節 等 名 称	金 額	節	ノ	ド	細 節 等 名 称	金 額
		11	需用費 消耗品費	219					
		13	プロポーザル支援業務委託料	2,452					
		15	木質バイオマスボイラー導入工事	79,534					

# 平成26年度 一般会計 決算特徴的事業調書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 294	説明資料	P. 289	款 項 目 事業 細事	08 05 01 05 01	土木費 住宅費 住宅管理費 ｽｰﾄﾞ・ｲﾝ等住宅改修事業 ｽｰﾄﾞ・ｲﾝ等住宅改修事業	部・局 課 計画項目 基本方針	10 03 Ⅵ ④	建設部 都市計画・建築住宅課 うるおい安全都市 住宅の供給と安心できる住環境の整備
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	---	--------------------------	--------------------	--

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額
		国庫支出金	府支出金	市債	その他		
スマート・エコ等住宅改修費助成金	13,311				13,000	311	13,399
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳						
○助成件数 154件	H26 地域振興基金繰入金 13,000						
○助成対象工事	事業期間 総事業費 国庫支出金 府支出金 市債 その他 一般財源						
・スマート・エコ改修 111件	H26 ~ H27 33,311						
〔内〕エコキュート等設置 93件	【京丹後市総合計画以外の計画】※該当する場合のみ						
窓断熱等 18件	年度策定 期間						
・子育て住宅改修 8件 (子ども部屋の増築又は改修等)	年度策定 期間						
・バリアフリー改修 35件	【市民参加の有無】						
〔内〕浴室改修 34件	無						
トイレ改修 17件	【今後の事業の方向性】						
段差解消 17件 ※重複あり	平成26年度と平成27年度の2カ年に限定して行うこととしており、平成27年度で終了となる。						
※対象経費：500千円以上	参 考						
補助率：1/10 (上限100千円)							
助成対象金額 (市内業者受注額) 176,147千円	H25決算	0					
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>	H27予算	20,000					
事業により、省エネルギー化への改修による環境にやさしい住宅、子育てしやすい改修による住環境の向上、またバリアフリー化の改修による過ごしやすい住宅を促進することができ、住みやすく快適な住宅への推進が図れた。また、市内建設業への受注機会の増加を促し、一定の経済効果があった。	<b>【事業費内訳】</b> 合計 13,311						
	節コード	細 節 等 名 称	金 額	節コード	細 節 等 名 称	金 額	
	19	ｽｰﾄﾞ・ｲﾝ等住宅改修費補助金	13,311				

平成26年度

一 般 会 計

決 算 特 徴 的 事 業 調 書

(単位：千円)

一般会計 決算書	P. 366	説明資料	P. 345	款 項 目 事業 細事	10 05 06 02 01	教育費 社会教育費 文化財保護費 文化財保護啓発事業 文化財保護啓発事業	部・局 課 計画項目 基本方針	12 05 IV ⑤	教育委員会事務局 文化財保護課 生涯学習都市 歴史文化遺産の保全と活用
-------------	--------	------	--------	-------------------------	----------------------------	--	--------------------------	---------------------	--

項 目 名 称	決 算 額	特 定 財 源 内 訳				一般財源	(参考) 最終予算額							
		国庫支出金	府支出金	市 債	その他									
大丹後展開催事業	878					878	693							
<b>【項目の決算概要】</b>	特 定 財 源 の 内 訳													
平成27年度に京都文化博物館で丹後の歴史や文化を紹介する「大丹後展」を開催するための準備を行った。														
○展覧会の内容等を協議するための丹後展企画委員会 委員14名 3回開催 ・委員謝金 36千円 ・委員費用弁償 44千円	80千円	事業期間					総事業費	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
		H26 ~ H27	29,614									29,614		
○展示品選定事前調査、企画委員や博物館との調整協議 ・旅費 188千円 ・有料道路通行料 12千円	200千円	<b>【京丹後市総合計画以外の計画】 ※該当する場合のみ</b>												
		年度策定										期 間		
○展示会場放映用郷土芸能映像の作成 ・映像作成業務委託料 486千円	486千円	<b>【市民参加の有無】</b>												
		無												
○その他消耗品等事務経費 ・消耗品費 109千円 ・印刷製本費 3千円	112千円	<b>【今後の事業の方向性】</b>												
		平成27年度開催に向けて引き続き協議や調査を行う。										参 考	H24決算	0
													H25決算	0
													H27予算	28,736
<b>【事業実施の経緯及び成果】</b>	丹後の歴史や文化を広く周知し、京丹後市を含む丹後について興味・関心を喚起し、京丹後市における交流人口の増大、地域活性化に寄与することを目的に、平成27年度に京都市内において展覧会を開催する。国内屈指の観光都市であり、文化活動の発信拠点でもある京都市内での展覧会実施は、関西圏内外の都市部に住む人々へのアピールとなる。また、丹後に住む人々にとっても貴重な展覧会ともなり、京都市を介し都市部と丹後の交流が図られる。													
<b>【事業費内訳】</b>		合 計 878												
節ト	細 節 等 名 称	金 額	節ト	細 節 等 名 称	金 額									
08	資料館特別展示謝金	36												
09	費用弁償	44												
09	普通旅費	188												
11	消耗品費	109												
11	印刷製本費	3												
13	映像作成業務委託料	486												
14	有料道路通行料	12												



